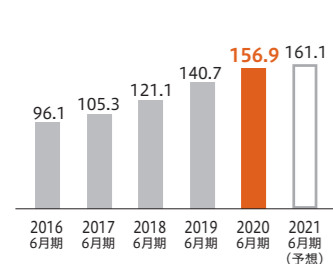
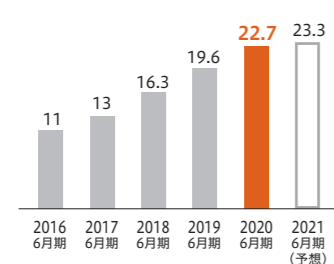


## 業績ハイライト ■ 当期実績 □ 予想

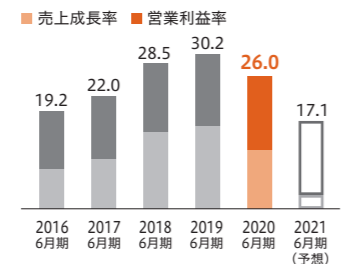
### 売上高



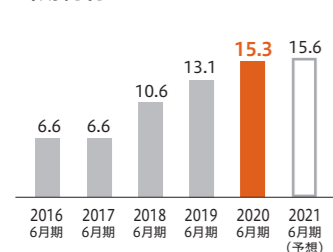
### 営業利益



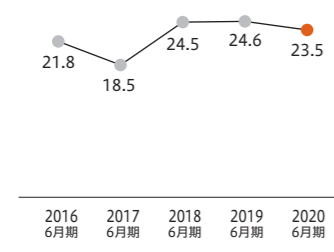
### 売上成長率+営業利益率 (%)



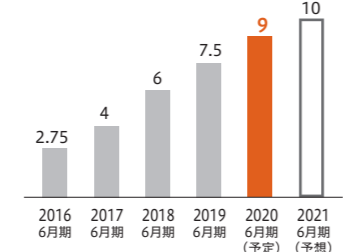
### 当期純利益



### ROE



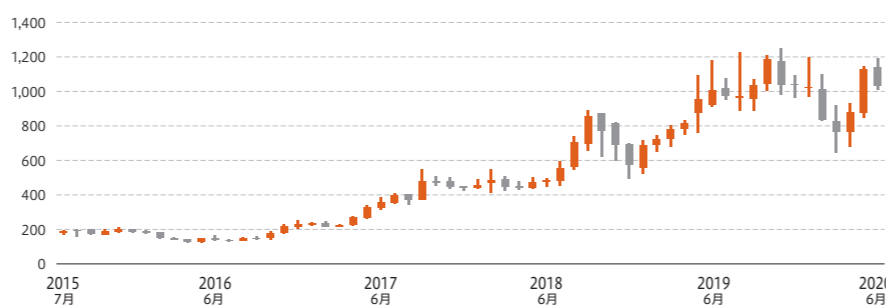
### 配当金額



今後も売上・利益の成長を目指すため、内部留保からビジネスモデルの構造転換に必要な投資を行う一方で、株主の皆様に対しては現金配当を安定的に維持向上させていくことを目指します。

## 株価情報

### 株価の推移 (月足) ■ 陽線 ■ 陰線



### トータルリターン



## 4コマストーリーの回答 & アンケート募集中

### PRESENT



4コマストーリーのテーマを右記アンケートフォームよりご回答ください。正解された方より先着50名様に当社社長 & グループ会社社員からの公募写真で制作している『アバント特製カレンダー』をプレゼント!

※抽選は2020年11月29日実施予定です。  
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



■アンケートフォーム  
<https://krs.bz/diva/m/poll>

※当社に対する投資家の皆様のご意見を募集します。  
※4コマストーリーの回答は「4コマストーリーの回答」欄にご記入ください。

最新のIR情報はHPにてご覧いただけます。

■トップページ <https://www.avantcorp.com/>  
■IRページ <https://www.avantcorp.com/ir/>

### 株式会社アバント

東京都港区港南二丁目15番2号 TEL:03-6864-0100(代表)



次のステージへ転換。

# AVANT NEWS

株式会社アバント

## 第24期株主通信

2019.7.1 - 2020.6.30

証券コード 3836



# 変革の今をチャンスと捉え、 ビジネスモデルの転換を本格化させます

株式会社アバントは、企業内外に存在するあらゆる経営情報を集めて分析し、経営判断につなげるための様々な製品・サービスを、(株)ディーバ、(株)ジール、(株)フィエルテ、(株)インターネット・ディスクロージャーというグループ会社を通じて提供しています。グループとして「100年企業の創造」という企業理念を実現するためには、中長期にわたる成長を可能とするビジネスモデルを作り上げる必要があり、そのための構造転換を目指し、中期経営計画「BE GLOBAL」を進めています。新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの生活やビジネスのやり方は変えざるを得なくなっています。アバントグループはこの大きな変革期をチャンスと捉え、中期経営計画3年目となる2021年度、ビジネスモデルの構造転換を本格化させます。



# 変換

( 冊子の見方も変えてみましょう )

この冊子には、当社のビジネスモデルに関する **1~4** と **A~D** の2つの4コマストーリーが隠されています。それぞれのストーリーのテーマとして、右記の空欄に当てはまるワードは何でしょう。答えは、裏表紙「業績ハイライト」下の宛先までお送りください。

[Question]

Q.1 **1~4** で生まれた課題 ▶     ビジネスへの転換

Q.2 **A~D** で示す解決策 ▶     製品の展開

## グループ全体の企業価値を最大化させる 持株会社

### AVANT

- グループガバナンスの構築
- グループシナジーを創出する仕組みづくり
- 既存事業の成長での計画未達部分に対する施策の実施
  - ・外部成長の取り込み
  - ・新規事業への投資
- 金融市場とのコミュニケーション

## 3つの事業の事業価値を最大化させる 事業会社

### 連結会計関連事業

株式会社ディーバ

**DIVA**

株式会社インターネットディスクロージャー

株式会社 インターネットディスクロージャー  
Internet Disclosure Co., Ltd.

### ビジネス・インテリジェンス事業

株式会社ジール

**ZEAL**  
BI EVANGELISTS

### アウトソーシング事業

株式会社フィエルテ

**FIERTE**

- お客様への貢献価値の最大化に集中
- 事業計画の達成
- 目標達成のためのビジネスモデル転換
- 蓄積したナレッジを元にした新商品の開発

## 会社概要

2020年6月末時点

会 社 名 株式会社アバント  
代表取締役社長 森川 徹治  
本 社 所 在 地 東京都港区港南二丁目15番2号  
設 立 1997年5月26日

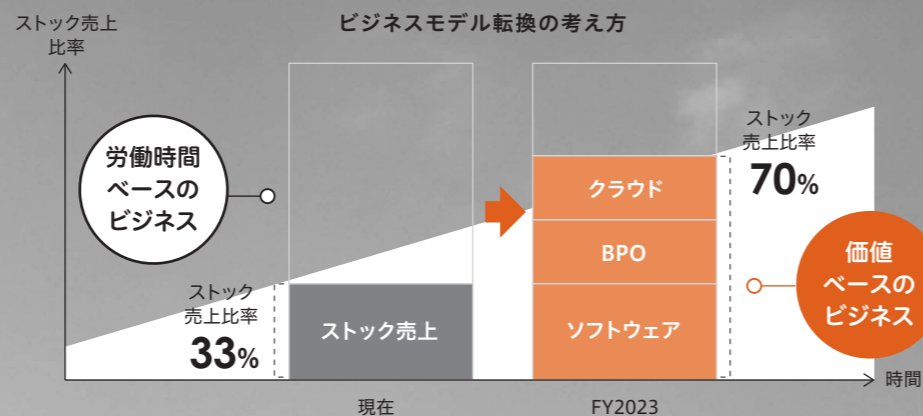
資 本 金 3億327万1,382円  
発行済株式総数 37,586,982株  
1単元の株式数 100株  
従 業 員 数 1,055名(連結)



1

# ストック売上比率を向上させる、クラウド型の製品を投入。

中期経営計画ではビジネスモデルの変換を目指しており、その進捗を測る目安として「ストック売上比率」を70%に引き上げることを目標としております。この値を増やすために行っているのが、クラウド製品やサービスの開発です。今期は以下の3つをリリースいたしました。



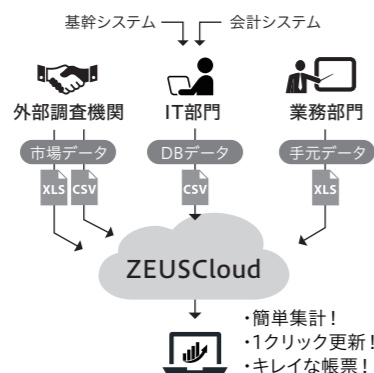
## AVANT Group 中期経営計画「BE GLOBAL 2023」

	売上高	ストック売上比率	営業利益	GPP 売上成長率+営業利益率	ROE	配当
FY 2019	121億円	31%	19億円	30.2pt	24.5%	7.5円
FY 2020	156億円	33%	22億円	26.0%	23.5%	9円
FY 2023	180~220億円	70%	31~38億円	40pt以上	20%以上	15円以上

### PICK UP ①

#### ITの知識がなくても、簡単操作でデータ作成 ZEUSCloud (Zeal Enterprise-data Unified Service Cloud)

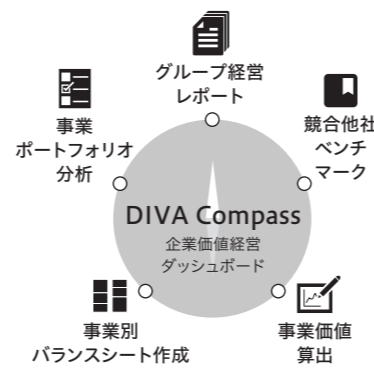
2019年9月27日に「ZEUSCloud」をリリースいたしました。これは経営や業務に必要なデータ分析を、より身近に、簡単に、そして安価に行えるクラウド型の分析プラットフォームです。形式は気にせず、データをアップロード可能。多次元分析や地図連携、グラフ作成も手軽に行えます。中核となる技術には、MicroStrategy社のプラットフォームを採用しており、ジールに蓄積されたノウハウが詰まっております。



### PICK UP ②

#### 金融市場との対話に必要な情報をすばやく準備 DIVA DIVA Compass

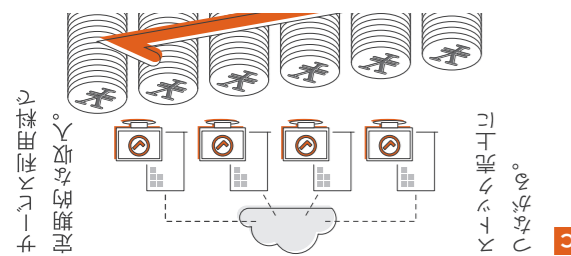
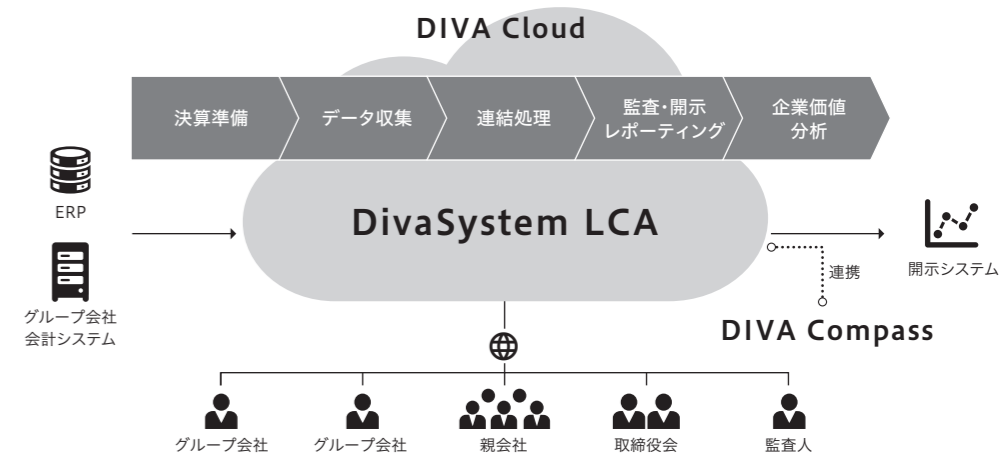
2020年4月22日にリリースした、グループ会社の経営状況を分析するクラウドサービス「DIVA Compass」。日本の企業は欧米諸国より、収益性や経営効率が低水準と言われております。「DIVA Compass」を活用すれば、経営に必要な資産や資本効率が把握でき、企業全体の価値や事業別価値の把握、他社・他業種との比較が可能となり、収益性改善、経営効率改善につながります。



### PICK UP ③

#### 連結会計の業務をクラウド上で完結 DIVA DivaSystem LCA

大企業から中堅中小企業、さらにはIPO準備に取り組んでいる企業まで、幅広い方にお使いいただける連結会計クラウドサービス「DivaSystem LCA」を2020年7月7日にリリースいたしました。これまで1,000社以上の企業とお取引する中で培ったノウハウを活かし、テンプレートやタスク管理など業務に必要な機能をあらかじめ完備。連結決算が初めての方でも、安心して利用できます。また、クラウドならではの利点を活かして、ディーバがお客様の利用状況を見ながら機能の活用方法をサポートいたします。クラウド経由でグループ会社の会計システム/ERPや開示システムと連携できるだけでなく、左記の「DIVA Compass」など、連結会計データを活用する他のサービスとも連携可能です。





## アバントグループ 連結

# AVANT

### 4つの事業会社を 取りまとめる持株会社

連結会計関連事業、ビジネス・インテリジェンス事業、アウトソーシング事業の3つを、4つの事業会社を通じて展開しております。あらゆる経営情報を活用するための製品・サービスを提供し、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を実現。その先の高度な経営判断をサポートしております。

### 経営高度化の ニーズは好調

2020年6月期は、下半期に新型コロナウイルス感染症が広がりました。しかし、お客様の経営高度化に対するニーズは、各セグメントとも引き続き成長。連結売上高は**11.5%増**、営業利益は**15.9%増**となりました。

## 連結会計関連 事業



### 1,000社以上の企業に 連結会計システムを提供

ディーバでは連結財務データの作成をサポート。管理会計や事業ポートフォリオ分析管理など、経営判断に必要な財務・非財務情報を提示するための製品・サービスを展開しております。インターネットディスクロージャーは、上場企業の開示情報をデータベース化し、監査法人等に提供しております。

### 世の中の追い風を 受けて売上・利益増

コーポレートガバナンス強化の中、順調に売り上げを伸ばすことができました。2020年6月期の売上高は**5.6%増**となり、営業利益は**25.0%増**を達成。「DIVA Compass」や「DivaSystem LCA」をリリースし、よりいっそう成長スピードを加速させてまいります。

## ビジネス・インテリジェンス 事業



### お客様が持つデータを レポートで「見える化」

ビジネス・インテリジェンス（BI）とは、社内外にあるデータを整理・統合して分析を行い、レポートやグラフとして「見える化」させることで、経営上の意思決定に活用する技術のこと。ジールはBIを専業とし、お客様のニーズに合わせて、国内外に存在するさまざまなソリューションの選定・提供を行っております。

### 市場の強いニーズに応え、 増収増益を達成

ジールが扱うBIツールは、企業がデジタル・トランスフォーメーションを推進する上で核となるソリューション。ニーズはいっそう高まっており、2020年6月期の売上高は**15.6%増**、営業利益は**8.8%増**と、高水準の成長を実現しました。

## アウトソーシング 事業

# FIERTE

### 業務をお客様の代わりに実行 働き方改革をサポート

フィエルテでは連結決算処理から開示書類作成まで、あらゆる業務をお客様に代わり実施するサービスを行っております。また、資金管理ソリューションも展開。海外に子会社を持つお客様が資金残高や金融商品残高をリアルタイムで把握するための、グローバル資金管理システムを提供しております。

### お客様層が順調に拡大し 売上・利益ともに増加

昨今の働き方改革を受け、企業が積極的に業務のアウトソーシングを推進。その結果、フィエルテが提供する連結決算アウトソーシング、資金管理ソリューションのどちらもお客様層が拡大しました。2020年6月期の売上は**26.5%増**、営業利益は**14.4%増**と、順調に成長しております。

### 日本企業に迫るDXの波 残された時間はあと5年

**デジタル・トランスフォーメーション**  
デジタルテクノロジーを使って業務スタイルや経営など、あらゆる面でより良い方向に変化させること。DX。

**IT人材不足**  
2020年現在で約30万人が不足するIT人材。2025年には、約36万人にまで拡大するとされています。

「2025年の崖」。日本でデジタル・トランスフォーメーションが浸透しなかった場合の経済への影響を表す言葉です。過去に日本が生み出したITシステムは、自動化・効率化で世界をリードしていました。しかし、インターネットを基盤とした、新たなビジネスモデルや経済価値を生み出す流れには乗り遅れたと言われていました。それどころか、国産のITシステムは企業の縦割り組織の中で次第にブラックボックス化。今ではレガシー（負の遺産）となっているのです。2025年にはIT人材不足がさらに顕著になると予想されており、システム維持コストの高騰、トラブルやデータ滅失等のリスクの高まりが指摘されています。このままでは、日本企業は市場の動向に合わせてビジネスモデルを柔軟・迅速に変化させ

話題の言葉を読み解くコラム

# HOT WORD



## 2025年の崖

# AVANT

ることができず、2025年以降に大きな経済損失が生じる——と経済産業省が警鐘を鳴らしているのです。

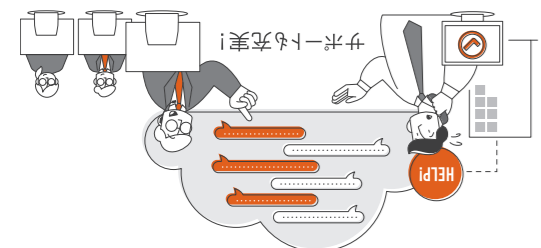
ちょうどこの時期、多くの企業が導入している基幹統合システムのサポート終了に合わせて、各社がシステムの刷新を始めています。クラウドやビッグデータなどの情報基盤を活用し、新たなビジネスモデル・製品やサービスを創出。それにより競争上の優位性を確立しようと、積極的なIT投資を続けているのです。新型コロナウイルス感染症の影響で多くの企業が設備投資に慎重になる中、IT投資は継続する意向を示しています。これは、新たなビジネスモデルへの対応を通じた価値創造、つまりDXが、未来において必要不可欠な要素だと広く認識されているからではないでしょうか。当社グループが提供するのはDXを実現するためのソリューション。ぜひホームページで、製品・サービスの詳細をご覧ください。

### 基幹統合 システム

製品の生産から販売、請求書の発行まで、企業が基幹業務を行うのに必要な業務システム。ERP。

### IT投資

企業が効果的な情報活用を行うためにする投資のこと。2019年度のIT投資は、依然として増加傾向にあります。



8



3

製品を  
ようやくインストール…